

# フェリー運航体制変更に関する アンケート調査結果について

平素より、本町の施策に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、フェリー運航体制変更における影響等を把握することを目的として、町内事業者や団体等にアンケート調査を実施いたしました。

ご多忙のところ、現状やご意見をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。

令和7年12月 町長 隈崎 悦男

## アンケートの発送及び回答件数、回答率

本アンケートは、町内の事業者、団体等を対象に実施いたしました。

- ・ 発送件数 459 件
- ・ 用紙回答 120 件 インターネット回答 61 件 合計 181 件
- ・ 回答率 39.43%

## 質問内容

【問1】 事業所・会社・団体名等を教えてください。

【問2】 業種を教えてください。（一番近い業種を一つお選びください）

【問3】 経営主及び団体長（回答している方）の年代を教えてください。

【問4】 フェリーの運航体制変更に伴い、経営及び事業運営に関して影響がありますか？

【問5】 問4で「② 影響がある」を選んだ方にお聞きします。

どのような影響がでていますか？ 内容や理由を教えてください。

【問6】 問4で「② 影響がある」を選んだ方にお聞きします。

影響に対して取り組んでいること、また、今後取り組む予定があれば内容を教えてください。

【問7】 フェリーの運航に対して、どのような対策を望みますか？（複数選択可）

【問8】 問7で「② 曜日の変更」を選んだ方におたずねします。

現在の4便体制において希望する曜日をお選びください。（○は4つ）

【問9】 問7で「③ 運行時間の変更」を選んだ方におたずねします。

運行時間の変更について具体的な内容を教えてください。

【問10】 問7で「④ その他」を選んだ方におたずねします。

具体的な内容を教えてください。

【問11】 フェリー減便に関するご意向・ご要望を教えてください。

## 全体

【問 2】 業種を教えてください。（一番近い業種を一つお選びください）

番号	業種	件数	(%)
1	農業	10	6
2	漁業	3	2
3	建設業	20	11
4	製造業	13	7
5	電気、ガス、水道業	5	3
6	情報通信業	0	0
7	運輸業、郵便業	7	4
8	卸売業、小売業	33	18
9	金融業、保険業	7	4
10	不動産業、物品賃貸業	2	1
11	学術研究、専門、技術サービス業	6	3
12	宿泊業、飲食サービス業	20	10
13	生活関連サービス業、娯楽業	6	3
14	教育、学習支援業	10	6
15	医療、福祉業	7	4
16	複合サービス業	1	1
17	サービス業	19	11
18	公務	6	3
19	不明	6	3

【問 3】 経営主及び団体長（回答している方）の年代を教えてください。

年代	人	%
20代	1	1
30代	6	3
40代	29	16
50代	50	28
60代	35	19
70代以上	59	33

【問 4】 フェリーの運航体制変更に伴い、経営及び事業運営に関して影響がありますか？

	件	%
影響はない	87	48
影響がある	94	52

【問 5】 問 4 で「② 影響がある」を選んだ方にお聞きします。

どのような影響がでていますか？ 内容や理由を教えてください。

《農業》

- ・仕入れをまとめている。
- ・名瀬中央青果が水曜日が休みが多く、また次の日出荷しようと思ったら、フェリーが木曜日が休み。その間 2～3 日出荷できない。
- ・出荷日が減った
- ・農業資材、飼料の搬入に影響している。
- ・競りを終えた牛の運搬について元々、日月と船が無くて調整が大変だったのに減便により更に遅れがちになった。牛にとって競り場での係留はベストな環境でないため本当は競り終了後はできるだけ早く引く渡したい。

《漁業》

- ・出荷日が減った。お客さんが不便になった。
- ・島外市場への出荷日が減った

《建設業》

- ・材料仕入れが遅れるため、非常に困っている。
- ・書類等、急ぎの時、不便に感じる。荷役等も同様
- ・出荷日が減った。仕入れが遅くなった。
- ・ふるさと納税の返礼品の出荷など減った
- ・急の荷物等遅れる。
- ・仕入れが遅くなった
- ・鹿児島・奄美からの職人の手配の関係で、今まで夜喜界入りの朝帰りで手配できていたのが、木曜日の便がないため、火・水、金・土しかできなくなった。フェリーがないため宿泊代を負担せざるを得ない日も増えた。
- ・資材が届くのが遅れている。 島外へ出張で、日程によっては滞在費が余計にかさむようになった。
- ・材料の仕入れが遅くなった
- ・仕入れを多めに注文する

- ・出荷日が減った。名瀬の市場が水、日休みのため、火曜の次に集荷できる曜日が 3 日後の金曜日になる。鮮度を保つため、収穫をギリギリまで待つ必要があり、収穫作業の負荷が増した。
- ・出荷日が減った。

#### 《製造業》

- ・仕入れが遅れるため出荷が遅くなるのが不便です。
- ・仕入れおそくなる（入荷）
- ・お客様に送り届ける日数に遅れがでて、お客様へのサービスの低減が生じている。
- ・早急に必要な品物の到着遅れ、外注業者の入島遅れや注文品の到着遅れで工期が延長している
- ・出荷日が減った。鹿児島到着後の陸路輸送にも制約があり、週実質 2 回の出荷となっている。輸送効率の低下が顧客満足度の低下を招いている。
- ・出荷日が減った。お客さんが不便になった。

#### 《電気、ガス、水道業》

- ・仕入遅れ
- ・不具合が発生した場合、大型部品の調達が遅れることで停電が長引く可能性があります。
- ・フェリーにて人員や資機材を輸送しているため、工事を実施する時はフェリーの運航に合わせている。従って、フェリーの運航次第でトラブルの復旧に遅れる影響がある。

#### 《運輸業、郵便業》

- ・郵便物荷物等が遅くなった
- ・火曜日は 3 日分、金曜日は 2 日分の配達量が来ます。配達する人は限られてるのでその日で全て配達できない日が多々あります。（極力その日で終わらすようにはしますが）その場合、荷物を待っているお客様にご迷惑が掛かってきます。配達だけではなく、喜界島から送る荷物に関してもそれぞれ運休明けには 1 日の業務量のキャパを超える日があり、対応に追われています。また、従業員のキャパを超えた時、外部業者に委託しますが、週 5 から 4 になったことで前年比 1.5 ～2 倍の経費が掛かっています。事業所経営が悪化すれば人を雇いたくても雇えない、車を修理したくてもできないなど後々の影響を考えるとかなり大きいです。
- ・郵便物や荷物の送達日数が遅くなった。台風など臨時運休が重なると更に深刻。チルド扱いの品質確保が更に難しくなった。
- ・弊社は今回の減便となりました奄美海運㈱の喜界島総代理店（貨物荷役・船客販売）を生業としております。令和 7 年 6 月に減便となってから 4 ヶ月になろうとしておりますが、企業経営、運営に対し、どのように対応していったら良いかを日々模索検討しているところです。数ヶ月後、数年後を想像しますと、経営存続に影響するかもしれないとの危惧を抱いております。
- ・荷物の受け入れに影響がある
- ・資金請求をしても翌日の到着が厳しくなった。国庫金、歳入金、公金取扱後、最優先で送付をしなければいけないが、船便の関係上、福岡事務センターへの到着が遅れ、業務へ支障をきたしている。野菜、果物事業所が大変困っている。物流として、貨物船（共同海運 ミネヤマさん？）へ協力要請ができないか？（週 1 回木曜日）表航路を週 1 回でも入港できないか？「なみのうえ」

#### 《卸売業、小売業》

- ・注文品の遅れ（若干）
- ・仕入れが遅くなり、顧客よりクレームが増えた。作業効率が悪くなった。
- ・仕入れ日が遅くなった
- ・その日に必要な品が一日遅れになる
- ・日配等 火・木・土で入荷していたが、火・土に減り、品切れする。
- ・出荷・納品に影響あります。
- ・部品・製品等の入荷が遅れ、作業及び納品に影響が出始めている。
- ・突発的な受注（油外商品）に対しての仕入れに遅れが生じている。
- ・商品の入荷が遅れたり、船がある日に一気に大量に入荷したりするようになった。
- ・着荷の日が1日減ったことにより取り寄せ商品の着日がかかなり遅れる フェリー運行のない日の客数減少 問屋の発送日とフェリー運行日のタイミングがずれ着荷までのタイムロスが生じ大量の在庫をかかえるリスク
- ・仕入れが遅くなった
- ・仕入れに影響がでる
- ・木曜日の減便により、本土の生花市場からの出荷日に出せないで現状週2回しか仕入れが出来てない。（以前は週3回/貨物船は輸送時間等により不可）それに伴い生花等の在庫管理が難しくなった。突発的に葬儀が重なった場合はやむ無く航空便を利用するが、運賃が10倍程高いが供花代に上乗せする訳には行かないので赤字。
- ・流通に影響がでています。
- ・出荷日が減った。

#### 《金融業、保険業》

- ・荷物を出すお客様が、生もの等出したい時に出せなくて困っている。飛行機便にのせられない郵便物等がかかなりおくれたの配達になる。
- ・交通便が減少した
- ・資金請求をしても翌日の到着が厳しくなった。国庫金、歳入金、公金取扱後、最優先で送付をしなければいけないが、船便の関係上、福岡事務センターへの到着が遅れ、業務へ支障をきたしている。野菜、果物事業所が大変困っている。物流として、貨物船（共同海運 ミネヤマさん？）へ協力要請ができないか？（週1回木曜日）表航路を週1回でも入港できないか？「なみのうえ」

#### 《学術研究、専門、技術サービス業》

- ・自動車修理業をしていて、発注した部品が遅くなって、欠航などかかると、一週間、10日位かかってしまう。（悩み）→離島がゆえに諦め！
- ・郵便物の遅延、出張等の移動に影響がでている
- ・研究やインターンシップで来島する学生はフェリーを利用することが多く、週3日運休となると離島来島スケジュールが限定される。

#### 《宿泊業、飲食サービス業》

- ・仕入れ日（火・木・土）が3日あったが、2日（火・土）になり、発注予測が難しくなった。
- ・大島からの品物が遅くなりました
- ・仕入れが遅くなることがある。
- ・仕入れの品が届くのが遅くなった。
- ・品物が届かない
- ・出荷日が減った。お客さんが不便になった。

#### 《生活関連サービス業、娯楽業》

- ・郵便物（ゆうパック）の到着が片寄るため、配達が翌日になったりしています。日数経過による出荷元への返品が増えており、喜界島がチルドの配送先にならないようになっていくと思われる。  
（一部離島に該当する）
- ・大会に参加出来ないことや、遠征費の増加がある。

#### 《教育、学習支援業》

- ・教材が届くのが遅くなった。（時々天候不良で欠航と重なり何も届かないことがあった）
- ・宿泊客の減少
- ・集団宿泊学習や修学旅行の計画を立てにくい。
- ・宿泊学習や地区総体など島外行事の日程変更をせざるをえなかった。
- ・部活動の大会参加など、日にちが決まった人の移動に制限がある。
- ・島外の大会へ参加する際の移動

#### 《医療、福祉業》

- ・連絡文書等の到着が遅れる ・レンタル物品の到着が遅れることで利用者へのサービス提供が遅れる
- ・医薬品、医療消耗品等物品発注に係る搬入の遅延等
- ・施設の食事はクックチルを導入しています。そのため、鹿児島から船便で冷凍された食事が届きます。毎日船便で入っていた食事が1便欠航されたために振り分けで入荷しており業務負担が大きくなっています。
- ・お客さんの交流や出張などの日程が面倒になり、交流の機会が制限される。限られた予算の中で運営してる組織は飛行機の利用はなかなか難しく、日帰りで船中泊というの利用も多いのです。出張にも簡単に行けなくなります。船がダメなら 飛行機がいい、それは一方向的な判断です。

#### 《サービス業》

- ・入港なしの日の客数の減少。業者の方などの荷物が届かず、レンタカーのキャンセルがあったりした。
- ・資材仕入遅れなど業務に支障
- ・予測しない欠航が多く続くと便数が減ったうえに業務が困難になる。
- ・水曜日に鹿児島マリナパレスで会議があったのですが、船がなく、ホテル宿泊で予定外の出費あり。
- ・入荷遅れあり。現在、影響がどれだけでているのか。実態がつかめていない。着便数が、一つ減っ

たので不便になると思うが、特に今のところ困るようなことはないようですが、、、。5便が4便になったことで、じわりじわり困るような気がする。6便に希望した時もあった用ですが、現実問題としてどうか？と思うが、空路・船路が本土の皆さんの国道、県道の代わりです。同じように重量税も皆さん納めています。当社は多分喜界島でトップクラスの重量税、自動車税を納めています。

- ・週中の運休
- ・部品の入荷回数が減り、仕事が滞留しやすくなっている。仕事が溜まってしまい、納期遅れでお客様に迷惑をかけ、残業も増えている
- ・注文した材料や商品が届くのが遅く感じる事がある。
- ・部品等の調達が遅れる

#### 《公務》

- ・注文した部品の到着が遅くなる事がある
- ・業務で奄美や鹿児島を往復の際、期日の選定に制限を受けたり、執行する予算が計画以上のものとなったりする。
- ・減便の影響にて遠征における交通手段に制限がかかる。

#### 《不明》

- ・仕入れが遅くなった
- ・仕入れが難しくなった。品物がなくなってしまう。
- ・病院に行くのが不便

【問6】 問4で「② 影響がある」を選んだ方にお聞きします。

影響に対して取り組んでいること、また、今後取り組む予定があれば内容を教えてください。

#### 《農業》

- ・在庫をかかえることになる
- ・島での消費はある程度決まっているので、金曜に出荷するしかない
- ・注文予約等、早めに行う
- ・競りが終わった後も長期間競り場に留め置かれてる牛の体調が悪くなったりしないよう J.A. さんに頑張ってもらっている。あまりに長期になる時は一度売主の農家に牛を戻したりもする。
- ・木曜出荷分を金曜に切り替えた。果物類はくされが出る。
- ・収穫のタイミングをギリギリまで待って見極めるようにしている。
- ・注文を受けた発送日に送れない場合には、別途断りの連絡を入れている。

#### 《漁業》

- ・水産物なので鮮度保持を徹底している

#### 《建設業》

- ・早めに発注している。
- ・増便を
- ・早めに発注をしている

#### 《製造業》

- ・発注を木曜以外の水、金曜日にする
- ・月曜日に注文する
- ・出張の日程調整や宿泊費等の出張費を抑えるため、本土に賃貸住宅を借りた。
- ・お取引お客様全員に周知を図っている。早期納品要望のお客様には自社負担をし、宅配便輸送に対応している。
- ・物品の余裕を持った発注、フェリー以外での輸送検討
- ・早期発注をアナウンスするなど細やかな対応を行っているが、減便前のフットワークができず難しい。
- ・木曜出荷分を金曜に切り替えた。果物類はくされが出る。
- ・指定日の出荷分を注文者をお願いして一日延ばしている（木曜日対応）

#### 《電気、ガス、水道業》

- ・フェリー切り替え等
- ・早めの部品調達計画や事前の予備品確保が必要になります。
- ・フェリーの運行に合わせて4島の工事を計画している。

#### 《運輸業、郵便業》

- ・別になし
- ・出勤時間を早くしたり、外部業者に委託したりするなどして配達業務を行なっています。経費負担が大きくなってきてるので従業員に多少無理してもらう日があったりもしています。
- ・お客さまへの説明事項が増えた。きめ細かい周知で理解を求めている。
- ・企業存続に向けて様々な取り組みが必要となりますので、今後に向けての情報を収集中です。
- ・今の所なし

#### 《卸売業、小売業》

- ・運休日をさけた納入
- ・計画発注
- ・木曜日仕入を他の曜日に替えた
- ・木曜日配達を火、土曜にした
- ・水曜日出荷を木曜日に鹿児島出荷をするよう指示している
- ・ドライ商品を増やした
- ・今はなんとかありますが、今後、さらなる減便になったら対応のしようがありません。
- ・顧客に事情を説明し理解を得てもらうよう努めている。
- ・発注日や発注量を調整中
- ・季節によっては台風など天候を予測しながらの発注に加えて在庫が増えた 医薬品の急な需要に対



応の難しいことも生じようになった

- ・発注を考えて厳密に取り組んでいる
- ・あまり良い事ではないが、葬儀屋・病院の動向又は情報をこまめにチェックしかない。
- ・『取り組んでいること』というより、むしろお客様への対応が難しくなり、業務負担が増えています。特に荷物の発送を急がざるを得ないなど、これまで以上に余計な負担がかかっています。
- ・注文を受けた発送日に送れない場合には、別途断りの連絡を入れている。

#### 《金融業、保険業》

- ・常にお客様に声をかけている。

#### 《学術研究、専門、技術サービス業》

- ・（難しい）良く出る部品等は在庫を多めに仕入れたりしている。（バッテリー、タイヤ）
- ・仕事の計画に幅を持たせる方法で対処している
- ・事前にフェリーが週3日運休であることを注意喚起している。

#### 《宿泊業、飲食サービス業》

- ・早めに注文しました
- ・以前より一週間以上早い段階で発注するようにしている。
- ・発注を早めに余裕を持って行うようにしている。
- ・木曜出荷分を金曜に切り替えた。果物類はくされが出る。

#### 《生活関連サービス業、娯楽業》

- ・大会、前々前日にフェリーに乗るや、飛行機での移動が出てきている。

#### 《教育、学習支援業》

- ・なるべく欠航の日に配達にならないように注文日を変更している
- ・フェリーの運航日の周知
- ・休養措置日を木曜日に設定する
- ・行事の日程変更、延泊、早期帰島などで対応
- ・喜界島から奄美大島まで飛行機で行き、そこから船を利用するなど、交通手段を変更した。
- ・曜日をズラして移動。経費が余計にかかる。

#### 《医療、福祉業》

- ・なし
- ・現在は、分散して入荷しています。今後の取り組む予定はありません、送り出している業者とも配送の調整しており現状が、限界の状態です。
- ・予算の節約！

#### 《サービス業》

- ・予約の方にフェリーの入港の案内を確実に行うようにしている
- ・在庫が増えた
- ・事前に前倒ししてて発注をかけてますが、悪天候でもない日に簡単に欠航するのには残念で仕方ない。

- ・郵便等の遅配
- ・病院とかの予約を日帰りできる便に変更。でも検査とかの関係で変更できないこともあり、不便です。
- ・水曜日、出荷に極力合わせれるよう取引先に願う！
- ・なるべくまとめて発注をかける。お客様への納期がかかる旨の説明
- ・仕入れの数を多めにしたりお客様への影響がない様にしている。
- ・別の船会社への発送を依頼すること

#### 《公務》

- ・できるだけ早めの発注を心がける等
- ・期日の変更と言いたいところだが可能な範囲には限りがあり、また、フェリー不使用で予算計画を立案することは財務当局の理解が得られないため困難
- ・予定を早める、交通手段の変更。

#### 《不明》

- ・なるべく休みの日を考えて多めに入れるようにしています。
- ・病院予約変更ができないことがあり、ホテル代等余計な出費あり大変

【問 7】 フェリーの運航に対して、どのような対策を望みますか？（複数選択可）

	件	%
特にない	79	37
曜日の変更	77	36
運行時間の変更	21	10
その他	36	17

【問 8】 問 7 で「② 曜日の変更」を選んだ方におたずねします。

現在の4便体制において希望する曜日をお選びください。（○は4つ）

曜日	件数	%
月	33	12
火	45	17
水	30	11
木	45	17
金	40	15
土	46	17
日	30	11

週4便回答

火.木.金.土（9件）、火.木.土.日（8件）、月.水.金.日（7件）、火.水.木.土（6件）、  
月.水.金.土（5件）、火.水.木.金、火.水.金.土（4件）、  
月.火.木.土、月.火.土.日（3件）、  
月.火.木.金、月.水.木.金、月.木.金.土、月.金.土.日、火.木.金.日（2件）  
月.水.木.土（1件）

便数不足

日のみ（5件）、月.日（3件）、火.木.土、木のみ（2件）、月のみ、月.土、火.木（1件）

週6便

月.火.水.木.金.土（1件）

【問9】 問7で「③ 運行時間の変更」を選んだ方におたずねします。

運行時間の変更について具体的な内容を教えてください。

#### 《農業》

- ・朝の入港時間が早いので、もっと遅い時間に。
- ・喜界着が6時位がよい。欠航したときは臨時便を出してほしい。

#### 《建設業》

- ・朝6時入港（遅くしてほしい）、夜は21時くらい。

#### 《製造業》

- ・朝が早いのでできればAM7:00ごろの出航がいいと思います。
- ・喜界着が6時位がよい。欠航したときは臨時便を出してほしい。

#### 《運輸業、郵便業》

- ・朝の到着時間5:30 希望
- ・出航時間5時→6時にしていただければ有難いです。
- ・7時
- ・現在のフェリー運行では、鹿児島から喜界島への到着が深夜となり、来島客にとって非常に利用しづらい状況です。観光客にとってもビジネス客にとっても不便であり、地域経済にもマイナスです。到着時刻を日中または早朝に改善し、来島者が安心して移動・宿泊できるようなダイヤ編成を望みます。

#### 《卸売業、小売業》

#### 《金融業、保険業》

- ・朝が早すぎるので、一時間遅れさせてもいいのでは？
- ・朝の到着時間5:30 希望

#### 《不動産業、物品賃貸業》

- ・入港時間が早い

#### 《宿泊業、飲食サービス業》

- ・大島行きが朝が早すぎると思います
- ・喜界着が6時位がよい。欠航したときは臨時便を出してほしい。

#### 《教育、学習支援業》

- ・（喜界-奄美）朝早く起きると1日疲れる。朝名瀬に着いても時間をつぶすところがない。時々ピーチ航空を利用（奄美-成田）飛行機の乗り継ぎが悪く朝フェリー利用 ※すぐにAP行きのバスもなく不便

#### 《サービス業》

- ・朝名瀬行き5時は早い。せめて6時にしてほしい。
- ・朝の4:20分入港はちょっと早過ぎると思います
- ・5:00入港を希望

#### 《公務》

- ・7時以降22時以前の出入港

#### 《不明》

- ・朝の出航が早すぎる
- ・これでも十分です。

【問10】 問7で「④ その他」を選んだ方におたずねします。

具体的な内容を教えてください。

#### 《農業》

- ・空輸便を増やす
- ・現在の裏航路から本航路への変入
- ・どうにかして週5で運行できるよう検討して欲しい。

#### 《建設業》

- ・空輸便増便
- ・海上タクシーはあってもいい！！
- ・空輸便（喜界-鹿児島、喜界-奄美） 午前午後各2便に増
- ・鹿児島→喜界→名瀬 折り返し便
- ・6月1日より週4便で減便ですのでなぜか？船員不足が減便理由だとすれば船員増員を願うしかないのでは？

#### 《製造業》

- ・車を使うことが多いため、フェリーの「自動車航送運賃」の割引を考えてほしい。
- ・減便は望まない。
- ・曜日の希望はあくまでフェリーあまみに限っており、陸送業者との関係。また週末に近い曜日となると陸路の所要時間に影響する。
- ・月曜日から木曜日が注文が多い。

#### 《電気、ガス、水道業》

- ・欠航後の臨時便対応
- ・以前のように週5便の運航体制に戻してほしい。(鹿児島～喜界～奄美便でも可)
- ・沖縄航路の寄港を希望します。

#### 《運輸業、郵便業》

- ・Q11に記載したいと思います。

#### 《卸売業、小売業》

- ・空輸便の増
- ・喜界－奄美、喜界－鹿児島間の運賃が（空の便）あまりにも高すぎるので、改善していただきたい。
- ・週7フェリー
- ・これ以上減便にならないのを望む。
- ・船の増便。
- ・空輸便の充実
- ・以前の運行に戻していただきたい
- ・観光需要を取り込むことで利用者が増えれば、船会社にとっても収益が安定し、補助金も“赤字補填”ではなく“利用促進への投資”として活かされるようになります。これは地域経済にとっても大きなプラスとなり、結果として、より持続可能で安定した運行が実現できると考えます。

#### 《金融業、保険業》

- ・諸事情等で他の曜日等が欠航になった場合、その分他の曜日（日、時）にも運行するとかしてほしい。

#### 《不動産業、物品賃貸業》

- ・土、日に般があれば奄美－喜界の交流ができる。スポーツや買い物などみんなよろこぶと思う。

#### 《学術研究、専門、技術サービス業》

- ・運行便の数
- ・法律で、2時間以上の航路への補助金の条項を、1時間半以上に改正してもらい、表航路を喜界まで伸ばしてもらう。(法改正もしくは、特区で進める) 政治や他企業との連携のブラフを使い、有村主導にしないこと。1時間半の定義は立法からの時間経過やエンジンの性能向上の理由付け。

#### 《宿泊業、飲食サービス業》

- ・航空便を増加してほしい

#### 《教育、学習支援業》

- ・喜界－奄美大島間の海上タクシーがあると便利

#### 《医療、福祉業》

- ・ある参議院議員が、先日、離島の生活航路は、国有化という考えがあってもいいのではないかと話していました。

#### 《サービス業》

- ・空輸便の充実

- ・空輸便の増便
- ・離島運賃の価格を安くしてほしい。
- ・空輸、海上タクシー等の開設は、島民の利便性の向上と、交流人口の増加による島内のにぎわい等、望むところであり、理想ではありますが、補助航路である以上、利便性だけを追究しても、どうかと思う。国や県等の行政機関と運航会社等の緊密な協議・調整が必要不可欠だと思料する。現在、県は運航会社の船員不足、その他について、運行状況等の拡充を要望していると承知しているが、外海離島の宿命にある私たち島民も、鹿児島への復路の便の利用（季節貨物等を含む、農産物貨物の増や人員の増、その他）について、通年利用に自助努力する必要があるのではないか。

#### 《公務》

- ・空輸便の充実
- ・以前どおりの運行スケジュールに戻す

【問 11】 フェリー減便に関するご意向・ご要望を教えてください。

#### 《農業》

- ・週5便、6便就航
- ・本航路への変入で減便は解消可能では
- ・せめて週3回 火・木・土の運行はしてほしい。
- ・離島である故にタイムロスというハンデ資材の仕入れのコスト、出荷のコスト。4月に入るとフリーザーコンテナをリースして出荷していたが、フェリー減便により、フリーザーコンテナも今まで1つで済んでいた所、2つ必要になる。市場は水曜日と日曜日が休日なので、例えば火曜日出荷したら、木曜日の競りになる。その際、月曜日に収穫し翌火曜日まで選果、出荷の手順になるが、木曜日にフェリーがなければ土曜日の競りに間に合わない。トマトは生食です。1日1日鮮度は落ちます。本来水曜日に収穫し、木曜日に出荷する予定のトマトは、木曜日出荷できなければ翌週の月曜日の売りになります。特に4月以降の出荷に対してはフリーザーコンテナをリースしても対応できなくなります（品質低下になる）。補助金の対応で充分補えるか疑問。週4便の就航が避けられないのであれば、火・木・土の運行は必須。
- ・奄美、沖縄航路と一緒に運航できれば良い
- ・難しい事はわかっているけど出来れば以前の週5運行に戻してほしい。また、これ以上の減便は避けてほしい。Q8での曜日変更案の返答は牛組合の総意ではありません。私個人の考えでの答えです。
- ・週5便の就航を望む。
- ・市場との兼ね合いで木曜日の運行を切に望む。
- ・減便の原因が改善された場合には、再度週5便体制に戻してほしい。

#### 《漁業》

- ・船便にあわせて出荷調整するので問題はありません。

- ・ 今後は、最低でも週4便を維持してほしい

#### 《建設業》

- ・ 他社荷物船運行見直し
- ・ 県立大島病院の通院が木曜日のため、ホテル前泊、当日泊の2泊と飛行機代の負担が大きくなった。通院、薬、検査代もかかるのに、宿泊、航空券代と大変不便になった。
- ・ これ以上は減らさないでほしい！！！！
- ・ 従来の5便に戻してほしい。仕事上、資材等が島外から調達しなければならないので、支障があり、待ち状態で仕事がスムーズにいかない。
- ・ 週5便の就航、出荷不能分の補助金の新設
- ・ これ以上フェリー減便にならないように！！
- ・ 週4便から減便になると困りますが、今のところ問題はありません。
- ・ 平日の運航は減らさないでほしいです。
- ・ 仕事に支障はないが、島外に出るときに不便さを感じるので、週5便に戻せるなら、戻してほしい。
- ・ 土・日の便を検討
- ・ 週5便の就航
- ・ 減便は仕方のないことだと理解しています。生活路線ですので、毎日運航してほしいのが本音です。週4運航は慣れる時が来ると思います。今は喜界町内の不満が多いと思いますが、奄美海運のみなさんには感謝していますし、頑張ってもらいたいです。ただ、荒天以外のイレギュラーな欠航（船員が確保できないなど）になることは回避してほしいです。

#### 《製造業》

- ・ 週5便の就航
- ・ 減便になった曜日に他の船会社に就航をできるか打診等
- ・ 特にありません。
- ・ フェリー減便に対し、仕事の曜日の変更をしなければならない。
- ・ 以前のように、火水木金土の5回運行してほしい。
- ・ 減便は望まない。
- ・ 大島郡の他島は鹿児島からの定期便が数隻運航しており喜界島よりは輸送が安定している。喜界島はフェリーが唯一の物資輸送手段である事を理解して頂きたい
- ・ 将来的に2隻体制が難しくなることを想定すると不安になる。船の技術的進歩に期待しており、船員確保などの課題解決を心から願っています。
- ・ 週5便の就航を望む。
- ・ いままで通り週5便にしてほしい。週4便の場合、フェリーきかいとあまみの就航日の交代を希望

#### 《電気、ガス、水道業》

- ・ 特にありません。

- ・対応が遅い！
- ・航路・時間の変更等を検討し週5便の運航を復活して欲しい。
- ・奄美海運以外の船会社の寄港も希望します。

#### 《運輸業、郵便業》

- ・週5便の就航
- ・特になし
- ・フェリー減便は島への物流は止まりますが、フェリーの現場で働いてくれる人の事を思うと最善の策だとは思いますが、今後人口減少または、働く人の減少に伴いフェリーがさらに減便になると思っています。あまり得策ではありませんが、そうならないように国営か県営か町営で新しい航路の確保ができる事を期待しております。
- ・生活路線の更なる減便が無いようお願いする。
- ・ダイレクトに影響のある弊社としましては、4便が5便に戻るのを切望していますが、今得られている情報や状況では簡単にいかないように感じております。現在は減便に伴う島内への影響、情報を収集しておりますが、業種や立場変われば思いや考えが変わり、様々な意見が混在していると思います。減便対象の曜日、運航時間の変更等、今よりもよりいい方向に進むかもしれないと思うのであれば、実証実験的にもトライしていいのではと思いますし、代理店としても可能な限り協力したいと思っています。ただ、弊社は民間営利企業として経営しておりますので、公共交通インフラの一部を担っていることに責任をもってはおりますが、企業の存続に左右かもしれないと判断した場合には、簡単に了としかねることもあると思います。今回は減便という形で、航路問題が表面化しました。今後も色々な問題が出てくると思います(さらなる減便やフェリー数への影響など) 喜界町自治体を含む、喜界町に住む住民がこの航路問題を身近な大きな問題として認識し、想いを共有し、良い方向に進むために取り組んでいくことが大切であり、是非そうしてもらいたいと切に願います。
- ・別になし
- ・物流が大事なので、客船のみでなく、貨物船等で運んでもらいたい。

#### 《卸売業、小売業》

- ・5便就航
- ・週5便が良
- ・「出荷不能分の補助金の新設」この件に対応できるのでしたら週5便にしてもらえたらすべての荷物・客が助かると思います。火曜日の便で鹿児島を出て、水曜日は喜界で泊まって、木曜日に島を出る予定を立てていたが、木曜日の上り便がないため、島で2泊をしなければならなく、自分たちの確認不足で予定がずれてしまったこと。水曜日鹿児島発がないということを表示されているのかと思いました(言葉で説明がないと見落としてしまいそう)
- ・火・木・土の3便でもOK
- ・喜界島からの出荷がないと困るという小売業からのニーズ作り。喜界島ブランド作り。
- ・船の出航日にあわせて材料を仕入れているので、現在は問題ないです。



- ・週5便の就航
- ・船員対策は町も一緒になって取組んでいただけると嬉しいです。
- ・週5便の就航
- ・マルエーにだけ補助金を投じるのではなく、船が来ない曜日等は他の事業所も参入できるよう柔軟な対応を国や県などにも求めたいです。
- ・これ以上の減便は避けてほしい。 スポーツの遠征や病院の通院の方たちのことを考えると、日曜の船がないと飛行機にせざるを得ないので、週末にしっかり船の出入りがある流れが希望です
- ・やむ得ない理由で減便となったと理解せざるを得ないのかもしれないのかもしれませんが残念です
- ・将来の離島の衰退の危機を考えてほしい
- ・フェリーは来島手段の中で最も輸送能力が大きく、利用客の増加は地域経済に直接的な波及効果をもたらします。 しかし現在、補助航路であることを理由に、サービス向上や利用促進への取り組みが行政によって抑制されているように感じます。 地域の発展のためには、減便ではなく利用促進策を優先すべきだと考えます。ぜひ再考をお願いしたいです。
- ・減便の原因が改善された場合には、再度週6便体制に戻してほしい。

#### 《金融業、保険業》

- ・週5便希望！！
- ・週5便の就航
- ・週5便の就航
- ・これ以上の減便は避けてほしい。
- ・物流が大事なので、客船のみでなく、貨物船等で運んでもらいたい。

#### 《不動産業、物品賃貸業》

- ・補助航路なので週4便で良いと思います。

#### 《学術研究、専門、技術サービス業》

- ・このまま人口減少が続く限り、増便は厳しいと思います。週3便になるのも近いかもです。大島運輸と、共同フェリーとうまく使うことを提案します。
- ・島民の人口減による影響がでていて考えています。人口減は世の中の動きからすると仕方ないと将来を危惧するところです。「生活インフラをどう守るか」、「観光や産業とどう連動させるか」、「補助で便を維持+効率化+利用者増+代替手段整備」等の観点からどのような未来志向の取り組みができるか、自治体と住民が一体となり知恵を絞ることが重要だと考えています。
- ・影響はあるが、船員の確保ができないのであれば今の運航体制も致し方ないと思います。

#### 《宿泊業、飲食サービス業》

- ・特になし
- ・減便したなりの方法しかないと思います。
- ・人口減でしかたがない。顧客も少ない。5便はぜいたく。水曜、金曜は客はあまりいない。空輸毎日あり、船に乘客も少なく、無駄な水曜の船と思います。ぜいたくな、わがままな時代。利用もしない人達が要望する。船に乗らないで、ほとんどの人は飛行機。4便体制で良いと思う。あと

は慣れてくると思う。

- ・週5便の就航
- ・週5便の就航
- ・週5便の復活をお願いします。
- ・船員不足で船が出せないのなら仕方ないのかもしれません。
- ・就航するだけで有り難いです！
- ・船便が毎晩あるとわかりやすく、お客様へも案内しやすいと感じます。

#### 《生活関連サービス業、娯楽業》

- ・週5便の就航を望む。
- ・毎日のフェリー就航
- ・大会等で船を利用するのが金曜日か土曜日なので、今のところ減便でも不便を感じません。
- ・早期体制の回復と週5便の就航 鹿児島や奄美群島での大会日程によっては、行き帰りに影響がでる可能性があるため、臨時便などの対応

#### 《教育、学習支援業》

- ・利用者減少によるものと人で不足で減便は仕方ないと思う。現在の4便運航を火～金にして、土曜日臨時便対応にすれば（行事等や天候等々）良いのでは。喜界島から作物の出荷にしても土曜日だと日曜日の受け取りが休日だと用を足さないし、乗り組み員等の休みも十分に取れないのでは。お互いが少しずつ歩み寄り、よりよい運航計画ができ、十分に休養が摂れるようにすることこそ、現状の4日運行を保つことができるのではと思う。
- ・週5便の就航を希望する
- ・船員の確保など課題もあると推察するが、国、県と協議して対応を図っていただき、増便できれば有難い。
- ・部活動の大会は、大会前日の現地着を認めています。鹿児島本土での大会は土日にある場合が多いので、木曜夜に喜界島を出発し金曜朝に鹿児島に到着するフェリーと、日曜夕方に鹿児島を出て月曜早朝に喜界島に到着するフェリーがあるとありがたいです。

#### 《医療、福祉業》

- ・日曜日に大島に日帰り旅行ができる
- ・特になし
- ・フェリーの減便に反対する
- ・船舶に係る従業員を早急に確保して頂き元の体制に戻してほしい。
- ・人員などの問題で減便は致し方ないことは存じており島民の生活を守ってくださっているフェリー運行に関して、感謝をしております。しかし、今回の減便に関しては、島民にしては突然表に出てきた内容であり、後手後手になっていることが問題と考えます。今後、人口減と共に更なる減便が、想定されるのであれば、できることを出し合うような前向きな検討会が、必要かと考えます。
- ・船会社の減便の理由、運営の現状、そういった諸々の事情は、ある程度理解できる。しかしなが

ら、経営を中心とした民間企業の理由を聞いてばかり、理解してばかりいたら 行政は何のために、誰のためにある、のか？ そういった本質的な視点からの、問題解決の取り組みが必要かと思えます。

#### 《サービス業》

- ・人材を確保して以前の週5便体制が望ましい。
- ・週5便の就航
- ・欠航した場合は臨時便を出すようにして欲しい。
- ・有村商事の質の向上だと思います。
- ・いづれにしても、従来の利便さから、不便さに至った現況について、何とか打開していただくことを、お願いいたします。(勝手なことを書きましたがお許してください) 笑
- ・毎週6便(火、水、木、金、土、日)にしてほしい。現実的ではないかもしれないが、希望は必要だと思う。世の中どうなるか分からない。自分の地域だけよくなればいいとは思わないが、国、県も頼りにならないなら、喜界町！前向きに頑張ろうという言葉はあまり好きではないが、みんなで知恵を絞り、「喜界島の為に」で、役所の方々も我々も、それぞれの仕事で全身を望みます。
- ・フェリーの他に前みたいに奄美喜界島だけの往復船があれば。あと喜界島から最短距離の港への・小型船の取り組み

- ・人員が足りないのは分かるが、5便体制に戻して欲しい。4便であれば欠航した際の振替便などは必ず必要である
- ・今のところ影響は、受けていないが減便になることで病院に行く方、仕事関係などで困っている方がいることは、事実??
- ・就航するだけで有り難い！
- ・天気や機材の都合で飛行機が欠航になった時、船を利用したいと思っても日、月、木曜日は運航の無い日です。離島のハンデを強く感じます。
- ・台風などで欠航になった場合はなるべく臨時便を出して欲しい これ以上減便反対です。

#### 《公務》

- ・週5便を希望する
- ・船員減の中、抜本的な手を打たない限り、いわゆるギリ貧になる。運行区間について特に重複部分の見直しや、有事の際は自衛隊に転用させることを前提とした補助制度が作れないかといった声が(防衛省ではなく)自治体の側から上がることは有効と思う。以上、本アンケートを通じての意見等はあくまでも防衛省や所属機関の見解ではなく、個人の意見として。
- ・大島地区大会等の臨時便は継続して運行をお願いします。

#### 《不明》

- ・毎日あった方がよい
- ・週4便ちょっと良いです。こまりません。
- ・週5便の就航
- ・週6便をお願いします。